

<ニュース資料>

財団法人 東方研究会を運営母胎とする 個人指導の場の共同体  
東方学院 2010年度研究会員（受講生）の募集受付開始  
— 4月6日 東京：神田神社明神会館にてガイダンス開催 —

2010年2月  
財団法人東方研究会・東方学院

東方学院は、4月9日から開講する2010年度講座の研究会員（受講生・有料）を募集します（募集締め切りは4月末日）。これに先立ち4月6日（月）午後6時～7時、東京教室／明神会館（東京都千代田区神田明神内）、関西教室／真宗大谷派茨木別院（大阪府茨木市）にて、各地区ごとに56名のすべての講師が一堂に会し、新規研究会員を対象としたガイダンスを開催します。

講義はセクショナリズムに陥らない一般思想部門、仏典やインド・中国・日本の宗教を多面的に研究する個別研究部門、ベンガル語講座をはじめ、サンスクリット・パーリ・アジア諸国の言語と文化を習得する語学部門、仏像彫刻やインド音楽の実習部門のほか、臨床人間学入門など、東京、中部（名古屋、石川、岐阜）、関西（大阪、京都、神戸）の各教室で、全79講座（集中講座6講座含む、別紙参照）を開講する予定です。また、地方での公開講座も予定しています。

本年新たに開講する講座は、「インド古典と美術」（平岡昇修・平岡三峰子）、「陰陽の宇宙論と東アジア」（鈴木一馨）、「アーユルヴェーダ文献講読」（北田信）と多岐にわたります。

#### 《東方学院の講義スタイル》

当学院は設立当初から、仏教学やインド哲学などの東洋思想を中心に、普遍の真理を求め、講師と受講者である研究会員とが、ひとつの共同体を構成し、緊密な人間関係のもとに共同して学んでいます。基本的に1講座の定員は15名程度ですが、1人でも応募者があれば開講するため、多岐にわたる講座のなかにはマンツーマンで行われるものも少なくありません。

学院の理想に賛同した日本の最高レベルの講師陣が、報酬を度外視し、学歴、年齢、職業、国籍、性別にとらわれず、真に学問を愛する人のために、懇切に指導にあたっています。研究会員は現在、現役の大学生から88歳の方まで約200名にのぼります。

尚、詳しい内容（講義一覧、講師一覧、ガイダンス日程、受講料及び申し込み手続き）

につきましては別紙をご参照ください。

### 《東方研究会と東方学院》

財団法人東方研究会は、文化勲章受章者・東京大学名誉教授の中村元<sup>なかむらはじめ</sup>（1912～1999、哲学者、宗教学者）を中心に、仏教学やインド哲学などの東洋思想を軸として、真理探究および人間性の回復を目指して設立され、1970年11月に文部省より認可を受けました。その後、研究成果の普及を目指し、1973年に「東方学院」を設立、真に学を究め、道を求めたい人に開かれた研究の場を提供してきました。創立者中村元の没後は、その薫陶を受けた学者たちが結束し、現在は、学士院賞受賞者・東京大学名誉教授、財団法人東方研究会理事長の前田専學（インド哲学者、宗教学者）を東方学院院长として、学者達自身が営利を目的としない運営をしています。

### 《東方学院の成り立ち》

「真に教えたい一人と真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ」。これが創立者である中村元の固い信念であり、東方学院の原点です。

当学院は、本学院の理想に賛同する学者個人と、そのもとで学ぼうと志す学徒とによって構成される共同体、言いかえれば＜個人指導の場の共同体＞というべきものを目指しています。

設立当時、各大学には学園紛争の嵐が吹き荒れ、学術的には減退の、精神的には砂漠化の傾向が進んでいました。そうしたなかにあって、学術的、精神的な拠点となりうる、小さくてもしっかりした学院をつくるのが設立の目的でした。また、学問の自由を制約する縄張り意識やセクショナリズムを排して、真理の探究を目的とする学問本来の姿を回復することを目指し、大学の外につくる、カルチャーセンターとも異なる一種の私塾として出発しました。

大変お手数ですがご掲載の際にはご一報賜りますようお願い申し上げます。

＜本資料及び資料請求・入学についてのお問い合わせ先＞

財団法人 東方研究会 事務局 広報 佐々木、笛木  
東京都千代田区外神田 2-17-2 共和ホームズ延寿御茶ノ水ビル 4 階  
電話 03(3251)4081 fax. 03(3251)4082  
ホームページ <http://www.toho.or.jp>  
ご掲載賜ります際にはお手数ですがご一報ください。